

令和4年度 福岡美容専門学校 北九州校

学校自己評価 報告書

(自令和4年4月1日 至令和5年3月31日)

福岡美容専門学校 学校自己評価委員

委員長 広報室長 朝長 宏之

委員 教務主任 大音 亨介

教務主任 井町 憲治

事務主任 繁田 悠子

令和 4 年度 福岡美容専門学校 北九州校 自己評価結果

【評価 適切・4 ほぼ適切・3 やや不適切・2 不適切・1 】

1. 教育理念 目標

評価項目	自己評価
A、学校の理念・教育方針・人材育成像は定められているか	4
B、学校の目指す職業教育の特色が理解され、指導に生かされているか	4
C、社会のニーズを的確に捉え、学校の将来構想が示されているか	4
D、学校の理念・教育方針・育成人材像・特色・将来構想が学生や保護者に周知されているか	3

本校は福岡県美容生活衛生同業組合が設置した次世代の美容師を養成する施設です。

福岡県美容生活衛生同業組合には県下 2,700 店舗の美容室が加盟し、美容業界の発展と美容所の衛生環境向上に資するための活動と人材育成を目標としています。この、組合立という安定した設置基盤の下に、教育基本法ならびに美容師法の精神に則り、学生の個性に応じた専門教育を施し、次世代の後継者を育成して美容業界に寄与するという崇高な理念を継続して実現するために学校運営を行っています。

令和 4 年度は前年と同じくコロナ禍が続く中でしたが教職員の工夫と努力で少しずつコロナ禍前の状況と教育内容に戻した一年間でした。

A,B,C については明確に定め、学校運営は全てそれに基づいて行われています。

特に C、については本年度設置されたサロン事業部がその機能を果たし、常に就職先サロンや業者にリサーチを行い、それに合わせて教育内容の微調整を行っています。

D、については、本校では例年保護者が観覧可能な校外でのイベントや授業見学日を設けて、子弟の成長状況を確認していただいています。コロナ禍に入って令和 2 年度・3 年度はこれを自粛していました。しかし、これらを令和 4 年度は感染対策に留意した上で再開しました。保護者という重要なステークホルダーに学習状況や学習成果を確認していただく事は今後も継続します。

2. 学校運営

評価項目	自己評価
A、教育方針・目標に沿った運営方針が策定されているか	4
B、運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
C、運営組織や意思決定機能は明確で有効に機能しているか	4
D、教職員の人事、給与に関する規定は明確に、正當に整備されているか	4
E、教務、財務などの組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
F、教育活動などに関する情報公開は適切になされているか	3
G、情報システム化等による業務の効率化や省力化が図られているか	4

A,B,については明確に定め、それに沿って学校運営を行っています。

C,についても本校の意思決定機関は、総担任、学年主任、教務部長、教頭、校長と、非常に明確です。各分掌や学年団における問題は常に管理職に報告され、問題点は修正されています。

D,については職員就業規則に準拠して厳格に実施しています。

E,についても C と同様に明確に定めており、問題はありません。

F,については平成 31 年度より本校のウェブサイト上に公開した事で、広く一般の方にも本校の事をご理解いただける事となりました。

G,については、本校では成績や出席状況といった在学生の情報および入学希望者の情報は、それぞれデータベース化して一元管理しています。

3、教育活動

評価項目	自己評価
A、教育理念・教育方針・目標に沿った教育課程の編成、実施方策などが作成されているか	4
B、育成人材像や業界のニーズを踏まえて、修業年限に応じた教育の到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
C、実習・学科などのカリキュラムは体系的に編成され、学習指導方法の工夫や研究などが職業訓練という視点で行われているか	4
D、美容業界との連携によるカリキュラムの作成やその定期的な見直しがなされているか	4
E、美容業界と連携して、実践的な職業教育を目的とした実務実習（インターンシップ）が行われているか	4
F、授業評価を行うため、研究授業等の評価体制は適切に実施されているか	3
G、職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
H、成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確か	4
I、人材育成の要件を備えた教員が、教育目標に沿って確保されているか	4
J、美容分野における先端技術・知識を習得するための研修や教員の指導力の向上のための取り組みは行われているか	3
K、職員の能力開発のための研修は行われているか	3
L、効率良い授業のための可視化授業等 ICT への取り組みは出来ているか	3
M、ICT 授業のための教職員のスキルアップのための研修等は実施しているか	3

A,について、本校はこれを明確に規定しており全ての教育活動の基礎としています。

教育理念に沿った目標設定と課程の編成を行い、シラバスの見直しを毎年実施しています。それによって日々移り変わる業界のトレンドを教育に取り入れています。

美容室の要望にお応えするのはもちろんですが、同時に学生の満足度向上も目指さなければいけません。そのためにもカリキュラムの更新は本校にとって必須であると考えます。

B,についても同じく、美容師養成施設指定規則に準じた単位を設定しています。

C,については本校で最も力を入れていることであり、適正かつ厳正に実施しています。

D,については、本校が美容組合立の学校であるという最大の特徴を活かせる場面であり、県内各美容室の要

望を常に聞いてカリキュラムに反映しています。

E,Fについては特段の問題はありません。

ただし、Eについては一昨年から続くコロナ禍での実施となったため事前の学生への衛生指導や注意喚起に力を注ぎました。次年度中には新型コロナの社会的位置づけが変化することが予想されますが、注意すべき感染症であることは変わりません。今後もこのような指導は継続します。

Gについては本校の学校管理委員会（美容組合理事によって運営されている理事長の諮問機関であり、現役美容室経営者でもある）委員に学校運営についての定期報告をし、意見を頂戴し、運営に有効に活かしています。

Hについては学則と学生便覧に基づいて厳正に行っています。

Iについて、本校では教員の確保と育成こそが学校運営の核と位置付けて教員の育成を優先事項として行っています。学校運営の教育部門である教務部は、教務部長を頂点に教務課長、学年主任と常に教員の育成と指導をカリキュラムに沿って実施しています。

J,Kについては、本校が数年来最も注力している事項です。令和3年度はコロナ禍の影響を受け教員が研鑽をする場を設けることを自粛しましたが、本年度はこれまでのような教職員のスキルアップのための研修を再開することが出来ました。

Lについては、ここ数年は最大のテーマとして取り組んでいます。美容学校という性格上、技術を伝えることが授業と実習の内容の大半を占めています。そのため動画や写真を各教室でモニターなどの大画面に投影して学生に伝える事を行っています。

Mについては上記のように本校でこうしたICTへの取り組みは必須と言える物になり、教員は役割を分担して資料作りや他職員への指導にあたっています。

4、学習成果

評価項目	自己評価
A、就職率の向上はなされているか	4
B、美容師資格の取得（国家試験合格）はなされているか	4
C、その他美容関連の資格取得はなされているか	4
D、資格取得に対する指導や支援が行われているか	3
E、退学率の低下が図られているか	3
F、卒業生・在校生の社会的な活躍、評価を把握しているか	4

A,Bについては数年来高いレベルを維持していますが、Bについては、直近の令和4年度末の国家試験では残念ながらその前年の結果（100%）を下回る結果（96.21%）となりました。

これを真摯に受け止め、振り返り、年度に活かす事といたします。そして残念ながら不合格に終わった学生に対しては次試験で合格が出来るようにフォローを行います。

C,Dについてはマナー、着付け、ネイル、メイク、エステなどの検定を実施しています。合格レベルに達していない学生にはレベル向上のための指導を放課後の時間などを利用して行っており、いずれの資格も合格率は大変高いレベルにあります。

E,について、令和3年度入学者は最終的に卒業時15.3%という退学率でした。これはここ数年で最も高く、教職員一同その原因を追究しました。結論として進路に対して不安を抱える学生とは早期に就職指導や面談を実施し、悩みを解消する。また、精神的な不安を抱える学生に対しては担任、副担任以外の教職員が面談を実施し、保護者との連携を取りながら不安を取り除く指導を行う等の学生に寄り添った対応が最も重要であると位置づけ、年度途中から全学でこうした対策を取りました。

F,について、本校は中規模校ということもあり学生と教員の距離を程良く保つことが出来ています。そのため学生が発信する情報を掴みやすく、それを学生指導に役立てることが出来ています。

卒業後も折あるごとに卒業生の訪問を受けます。その際に卒業生やその同級生の動向を知ることが出来、卒業生の動向の把握につながっています。これは本校の大きな特色として今後も続けていきたい事項です。

入学者数と退学率、就職率、国家試験合格率 資料①										
入学年度	入学者数	卒業者数	退学数	退学率	休学数	就職者数	就職率	国家試験 受験者数	合格者数	合格率
H30年度生	115名	110名	6名	5.21%		110名	100.00%	110名	109名	99.09%
H31年度生	131名	118名	11名	8.39%	2名	115名	99.2%	117名	117名	100.00%
R2年度生	117名	113名	4名	3.41%		111名	98.2%	113名	113名	100.00%
R3年度生	156名	132名	24名	15.38%		128名	96.9%	132名	127名	96.21%
R4年度生	160名									

5、学生支援

評価項目	自己評価
A、進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
B、学生相談に関する体制は整備されているか	4
C、学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
D、学生の健康管理の支援体制は整備されているか	4
E、課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
F、学生の生活環境への支援体制はあるか	4
G、保護者と適切に連携しているか	4
H、卒業への支援体制はあるか	4
I、社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか、高校との連携による教育・職業教育の取り組みが行われているか	4
J、高校との連携による教育・職業教育の取り組みが行われているか	4

A,については就職担当者と広報担当者が組織立った活動を行い、学生の動向や希望を見極めながら就職指導を行っています。令和3年度に続いて4年度もコロナ禍にあつて学生の就職先確保が懸念されましたが、オンラインでの説明会参加や面接を積極的に行いました。

B,については、教員だけではなく、事務や広報担当者も含めて全教職員で学生との面談を行っています。学生の悩みを早期発見し、それを解決することが求められています。

C,については、令和4年度は度全入学者に対して10万円の学費支援を行いました。令和5年度の入学者に対しては福岡県美容組合奨励金制度として学費の減免を実施します。また、入学時の特待生制度や、卒業時の優秀学生表彰報奨金などは継続して実施いたしました。

D,については1年次と2年次に行っている健康診断等で学生の健康管理をしています。しかし、令和4年度は昨年度に続いて「新型コロナウイルス感染症」と共にある一年でした。学内での感染拡大の防止のために学生の体調把握については慎重に取り組みました。サーマルカメラを設置し、体温や発熱を可視化し、学級では毎日学生の検温を実施。館内各所と全教室に消毒液を配置し、手指洗浄、消毒、教室使用後の机椅子の消毒などを毎日実施しました。こうした事を徹底することで学内での感染拡大を阻止いたしました。

E,について、本校では日本理容美容教育センターが主催する「全国理容美容学生技術大会（理美容甲子園）」への取り組みを平成20年より行って来ました。令和4年度はこの大会が再開され、取り組みました。

結果として令和4年8月に実施された九州地区大会においてワインディング部門にて1名が敢闘賞（67名参加）、カット部門にて2名が敢闘賞（48名参加）、アップスタイル部門にて1名が敢闘賞（36名参加）ネイル部門にて2名が敢闘賞（50名参加）、ヘアデザイン画部門にて3名が優秀賞にて全国大会進出（68名参加）という成果を残す事が出来ました。こうした取り組みは学生に技術を磨く場として大変に有効です。

F,については全教職員にて面談をし、指導やアドバイスを実施しています。

G,について、本校では学生の欠席や遅刻が続いた際には担任や副担任より保護者に連絡して現状を伝えると同時にご家庭での状況なども聞き、学生指導に役立てています。こうすることで学校からだけでなく家庭からも学生の精神面や体調管理への協力体制を整えることが可能です。

H,について、追試の実施や補習の実施など、不出来学生や出席が不足した学生を切り捨てることなく「卒業」させることを最優先事項と考えています。

I,については大変重視しています。広報部を中心に在校生の出身校と連絡を取り、情報交換を行っています。在校生のみならずこれから入学を迎える高校生にとっても良好な教育内容を常に模索しています。

J,については広く高校に出向き、本校の広報活動では終わらずに美容業界全体について理解を深めていただくための活動を行っています。職業理解と業界理解を推し進めるのは美容組合立である本校の使命だと位置づけています。

6、教育環境

評価項目	自己評価
A、施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4
B、海外研修などの実施の体制は整備されているか	-
C、防災に対する体制は整備されているか	4

A,については常に増築、改修、設備の定期的な入れ替えなどを実施しています。令和4年度は本校の既存棟建て替え工事を行っています。令和5年7月の運用開始後はさらにより良い学びの空間を学生に提供する事が可能になります。

B,については例年2年次に海外研修を実施していますが、令和4年度もコロナ禍にあってこれを中止しま

した。しかし、学生が海外での技術を経験する機会は大変貴重なものと考えており、令和5年度には再開することとしました。

C,について防災施設は整っており、防災担当職員が防災計画に則って職員の防火管理者資格の取得や、教職員と学生の防災訓練、避難訓練やAED（自動体外式除細動器）の取扱い講習等を年間計画の中に組み入れて実施しています。また、業者による消防施設の点検は毎年実施しています。

7、学生募集

評価項目	自己評価
A、学生募集活動は適正に行われているか	4
B、学生募集活動において、本校の理念や募集ポリシーを正確に伝え、誇大宣伝等誤解を与えることの無いよう誠実にやっているか	4
C、学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
D、学費は妥当なものとなっているか	4

A,B,C,D 全てにおいて適切かつ正しく実施しています。

本校学生は北九州市を中心とした周辺市郡、大分県、山口県から入学します。そのほとんどが自宅からの通学生です。幅広い地域から通学する価値がある魅力的な学校づくりを心掛けるとともに、学生募集活動においては本校の就職率や国家試験の合格率などを的確に伝え、本校について理解してもらえるよう努力しています。

学費については妥当なものと考えます。また、入学後も募集要項に記載されていない追加徴収や教材販売などは一切行っていません。教材については入学時に配布する教材に加え、授業開始時期に合わせて同期配布する教材で全ての授業を受講することができます。昨今の原油価格高騰や外貨レートの変動などの影響で教材の購入価格は大きく上昇いたしました。しかし本校では今のところこれを学生や保護者に負担させるのではなく、学校が吸収すべく教材の選定については腐心いたしました。その結果学費の上昇は阻止することが出来ました。令和2年度より学生は在学中に3単位各自の判断で授業を選択する選択授業を開始しましたがこれについても同様で各講座で必要な教材は全て学校から配布をしており学生は追加の負担をする必要はありません。

また、卒業直前に学生が受験する国家試験の受験料（¥25,000・※令和4年度）も全て校納金の中から支出し、このために学生の負担が増えることが無いようにしています。

8、財務

評価項目	自己評価
A、中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	4
B、予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
C、財務に関する会計監査は適正に行われているか	4
D、財務情報公開の体制整備はできているか	4

A,B,Cについてはすべて適正に実施され、本校の経営状態は大変良好です。

Dにつきましては本校のウェブサイトにて公開をしています。この事で本校への理解が深まることを期待しています。

9、法令などの遵守

評価項目	自己評価
A、法令、専門学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか	4
B、個人情報に対し、その保護のための対策がなされているか	4
C、自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
D、自己評価を公開しているか	4

A,B,Cについてはすべて良好に実施・管理されています。

本校は県内唯一の美容組合が設置した養成施設です。法令に則りコンプライアンスを重んじることを職員にも徹底しています。

Dにつきましては令和2年度より本校のウェブサイトにて公開をしています。

10、社会貢献・地域貢献

評価項目	自己評価
A、学校の教育資源や施設を利用した社会貢献、地域貢献を行っているか	-
B、学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	-
C、地域に対する公開講座・教育訓練受託などを積極的かつ定期的に行っているか	-

これらの項目についてはコロナ禍にあって例年実施している活動や、ボランティア活動の多くが中止となりました。そのため令和4年度のこの項目については評価無しとしました。

このような機会は地域の皆様に対してのみならず、学生にとっても貴重な場であります。今後は新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら学生の安全を確保し、是非再開したいと思います。

11、総合評価

上記の項目を全て検証した結果本校の学校運営については適正、適切であると判断し、評価します。

令和4年度はコロナ禍で授業のあり方や衛生管理については様々な工夫が必要でした。

令和5年度は脱コロナに向けてここ数年の教訓を活かして美容師養成施設らしい衛生的で健全な学校づくり、組織づくりを目指します。